

価値創造ストーリー

“九州の元気を、世界へ”という「わたしたちの夢」をどのように実現していくのかを示したものが価値創造ストーリーです。

価値創造ストーリーの実現にあたっては、当社グループの強みを活かした事業活動を通じて、経済的価値・社会的価値を創造し、さらに新たな強みを育てていく価値創造プロセスが重要です。

わたしたちの夢

使 命

価値創造プロセス

環境の変化

労働市場の変化

競争環境の変化

「移動」に対する
考えの変化

インプット

P.12

- 財務資本
- 人的資本
- 知的資本
- 製造資本
- 社会関係資本
- 自然資本

事業活動



アウトプット

P.12

-
-
-
-
-

アウトカム

経済的価値

2028年3月期目標
 営業収益 5,300億円
 営業利益 710億円
 EBITDA 1,150億円

ROE

現行水準の維持

財務健全性

(2028年3月期時点)
 D/EBITDA 5倍程度
 自己資本比率 40%程度

社会的価値

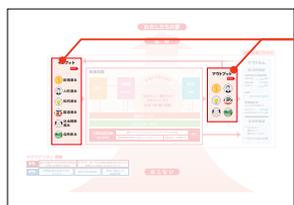
- 「住みたい・働きたい・訪れたい」まち
- 安全で快適な移動

マテリアリティ P.9

事業	最大の使命である安全の創造とお客さま満足の追求	モビリティサービスを軸に総合力を活かした地域との共創によるまちづくり
基盤	価値創造の源泉である人づくり	健全な企業運営 環境と調和した事業展開

おこない

価値創造ストーリー



当社グループの価値創造プロセスのための資本は、**財務資本、人的資本、知的資本、製造資本、社会関係資本、自然資本**であり、それぞれを最大限に活用し、「わたしたちの夢」の実現へ向けて事業活動に取り組んでまいります。以下は、それぞれの資本の一例です。

財務資本

カテゴリ	指標	値
財務健全性	自己資本比率	40.0 %
	信用格付	AA-(R&I)
	営業キャッシュフロー	966 億円
	D/EBITDA	4.4 倍

人的資本

カテゴリ	指標	値
学び挑戦する人材	従業員数	6,460 人(単体) ^{※1}
		15,202 人(連結)
	1人あたり研修実施時間	23.0 時間
人材の多様性	女性取締役比率	33.3 %
	新入社員女性比率	33.2 %
イノベティブな風土や制度	社内新規事業提案制度HIRAMEKIの実施	
多様な働き方	男性の育児休職等取得率	113.1 %

知的資本

カテゴリ	指標	値
すべての事業の根幹である安全意識の醸成	安全創造館研修実施回数	197 回
安全・サービスに関するノウハウの蓄積	安全に関する社員の声	16,616 件
	お客さまの声	11,165 件
鉄道事業で培われた技術力・現場力 まちづくりのノウハウと様々な事業を 開発・運営する総合力	JR九州グループ会社	43 社 ^{※2}
R&Dの推進	特許	32 件 ^{※3}
	意匠	5 件 ^{※3}
	実用新案	1 件 ^{※3}
	商標	165 件 ^{※4}
DXの推進	デジタルヒーロー認定制度の推進	

製造資本

カテゴリ	指標	値
持続可能なモビリティサービスの提供	駅数	572 駅
	車両数	1,598 両
	安全投資	241 億円
	斜面对策工事実施箇所	12 か所

鉄道沿線を拠点とした開発エリア

鉄道高架下をはじめとした遊休資産

多角化している事業の資産

全国平均より安価かつGHG排出係数が低い電力供給

成長を続けるアジアとの立地的な近接性、海外航路の多さ

豊富な長距離フェリー航路

社会関係資本

カテゴリ	指標	値
お客さま基盤	JR九州Web会員ID数	470 万人
	お客さま懇談会実施回数	17 回
	年間輸送人員(鉄道・バス)	3.3 億人
	駅ビル(1日あたりの入場者数)	50 万人
	オフィス(推定就業者数)	2 万人
地域社会、自治体、企業等との連携	ホテル(1日あたりの宿泊者数)	5 千人
	地域一体となったまちづくり JR九州ウォーキング参加人数	64,736 人 ^{※5}

自然資本

豊かで魅力的な九州の自然遺産

温泉「総湧出量」ランキング 1位 大分県「環境省温泉利用状況」より

豊富な自然エネルギー資源(日照、風況、地熱)

半導体産業等の製造業の稼働を支える豊富な水資源

※1 当社からグループ会社を含む他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む
 ※2 2025年6月30日現在
 ※4 当社が商標権を有しているものの件数(他社との共有を含む) ※5 2024秋編と2025春編の参加人数の合計

※3 当社が半数以上の持分を保有しているものの件数
 (注) 数値は、特に記載がない限り2025年3月期を記載